

令和7年4月16日
セプターカウンシル

セプターカウンシル総会第17回会合の開催について

重要インフラの情報セキュリティ対策の向上を図るため、重要インフラ各分野のセプターが連携して情報共有を行うセプターカウンシルの総会第17回会合を開催しました。

2024年度の活動報告概要及び2025年度の活動計画概要は、以下の通りです。

I 2024年度の活動報告概要について

1. 活動概要

設置要綱「2. 活動」及び「重要インフラのサイバーセキュリティに係る行動計画」にもとづき、運営委員会およびワーキンググループにおいて以下の活動に取り組んだ。

(1) 「情報共有体制の強化」に関する施策への取組み

- セプターカウンシルで構築した情報共有の体制・仕組みを運用しつつ、新たな共有情報およびその共有方法の整理に取り組んだ。
- ベストプラクティス等の事例紹介により、情報共有の拡充を図るとともに、各セプターでの活動状況や情報セキュリティ対策への取組体制、ITの利用状況の情報共有を行い、相互理解の促進を図った。
- 各セプターにおける情報セキュリティへの意識向上と対策強化に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関やオプザーバ機関等との意見交換等を行った。
- 情報セキュリティ技術動向や国内外の動向等、情報セキュリティ対策の強化に資する情報の収集及び知見の共有等に取り組んだ。

(2) 「障害対応体制の強化」に関する施策への取組み

- 全分野一斉演習（NISC主催）等の機会を活用し、情報共有体制の検証を実施した。

(3) カウンシル活動を継続・発展させるための取組み

- セプター間の情報共有の一層の充実等、重要インフラ事業者等の活動の更なる活性化を促進するための活動を企画・立案し、実施した。
- カウンシルの場を利用して分野間で注意喚起展開や互助活動を実施した。

2. 運営委員会の活動

カウンスルの総合的な企画調整・運営を担い、カウンスル全体としての活動を検討するとともに、重要インフラ事業者等の情報セキュリティ対策の向上に向けた情報共有体制について検討を行った。

- 延べ4回の会合（第76回～79回）を開催した。
- 運営委員会では毎回、出席者（各分野の幹事、オブザーバ、所管省庁、NISC）の間で、直近の活動等のトピックに関する情報交換を実施し、事業継続の上で重要なステークホルダーの動向を把握した。
- セプターカウンスルの取組みの一環として、各セプターがNISC主催の全分野一斉演習へ参加した。

3. 企画運営WGの活動

各セプターの主体的な判断により情報を連携するセプターカウンスルの活動の有効性を高めることを目的として、次の活動を行った。

- セプターカウンスルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制（C4TAP）による標的型メール情報の配信を53件（2025年2月25日時点、2012年12月25日運用開始から累計3,964件）行った。さらにC4TAP利用者に対するJPCERT/CCの早期警戒情報の配信や、情報共有会コンテンツの配信を行い、セプター構成員の情報共有の活性化の機会を提供した。

4. 相互理解WGの活動

セプター、重要インフラ事業者等間の相互理解の促進や信頼関係の深化を図ることを目的に、各セプターでの活動状況、情報セキュリティ対策への取組体制及びITの利用状況等について情報共有を行うものであるが、2020年以降、活動を休止している。

5. 情報共有WGの活動

セプターカウンスル構成員にとってより有益な情報を提供することを目的に、さらに改善すべき点について検討を行うとともに、情報セキュリティ対策上有益な他の情報について、情報共有に当たっての課題を整理しながら更なる情報共有の充実を図った。

- 「セプターカウンスルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制（C4TAP）」を引き続き運用し、他の情報共有体制との連携を図りながら情報共有を行った。

- 「Web サイト応答時間計測システム」を引き続き運用し情報共有を行った。

6. 情報収集WGの活動

情報セキュリティ対策の強化に参考となる先駆的な活動に関する情報や国内外の動向等を収集し、セプターカウンシルの運営活動に資するとともに、参加セプターでの知見の共有を図った。

- 4回の会合を開催した
- 環境変化、IT化の進展及び将来的な動向等を踏まえて、情報セキュリティ対策を中心に重点的に取り組んでいるテーマ等を、各セプターが輪番で発表を行い、カウンシルの自主性・持続性を高めつつ、知見を共有した。

7. 総会準備WGの活動

セプターカウンシル総会の準備事務局として、総会の開催に向けた準備を行った。

- 第17回総会の開催に向け、オンラインによる会合を開催した。
- 総会の開催に関する具体的な検討、準備、各種調整等を行った。

Ⅲ 2025年度の活動計画概要について

1. 設置要綱「2. 活動」に記載した活動

分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有のため、次の施策に自主的に取り組む。

また2025年は、日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催年度であることも踏まえ、セプター間での一層の情報連携を図り、サイバーセキュリティ体制の強化に努める。

(1) 「情報共有体制の強化」に関する施策への取組み

- セプターカウンシルで構築した情報共有の体制・仕組みを運用しつつ、新たな共有情報及びその共有方法の整理に取り組む。
- ベストプラクティス等の事例紹介により、情報共有の拡充を図る。また、各セプターでの活動状況や情報セキュリティ対策への取組体制、ITの利用状況等の情報共有を行い、相互理解の促進を図る。
- 各セプターにおける情報セキュリティへの意識向上に資することを目的に、

環境変化に迅速に対応すべく関係機関やオブザーバ機関等との意見交換等を行う。

- 情報セキュリティ技術動向や国内外の施策動向等、情報セキュリティ対策の強化に資する情報の収集及び知見の共有等に取り組む。

(2) 「障害対応体制の強化」に関する施策への取組み

- 必要に応じて、全分野一斉演習（NISC主催）等の機会を活用して、情報共有体制の検証を実施する。

2. カウンシル活動を継続・発展させるためのその他の活動

サイバーセキュリティ基本法及び重要インフラのサイバーセキュリティに係る行動計画に基づき、情報共有を基本として、一層の能力向上を目指した運営に関する継続的改善に取り組む。

- セプター間の情報共有の一層の充実等、重要インフラ事業者等の活動の更なる活性化を促進するための活動を企画・立案し、実施する。
- 報告会等の開催等セプターカウンシル全体としての活動を実施する。
- 重要インフラの全ての分野から本カウンシルの構成員として加われるよう、引き続き働きかけを行う。
- その他セプターカウンシルの目的を達成するために運営委員会が必要と認める事項を実施する。

【お問い合わせ先】

内閣サイバーセキュリティセンター

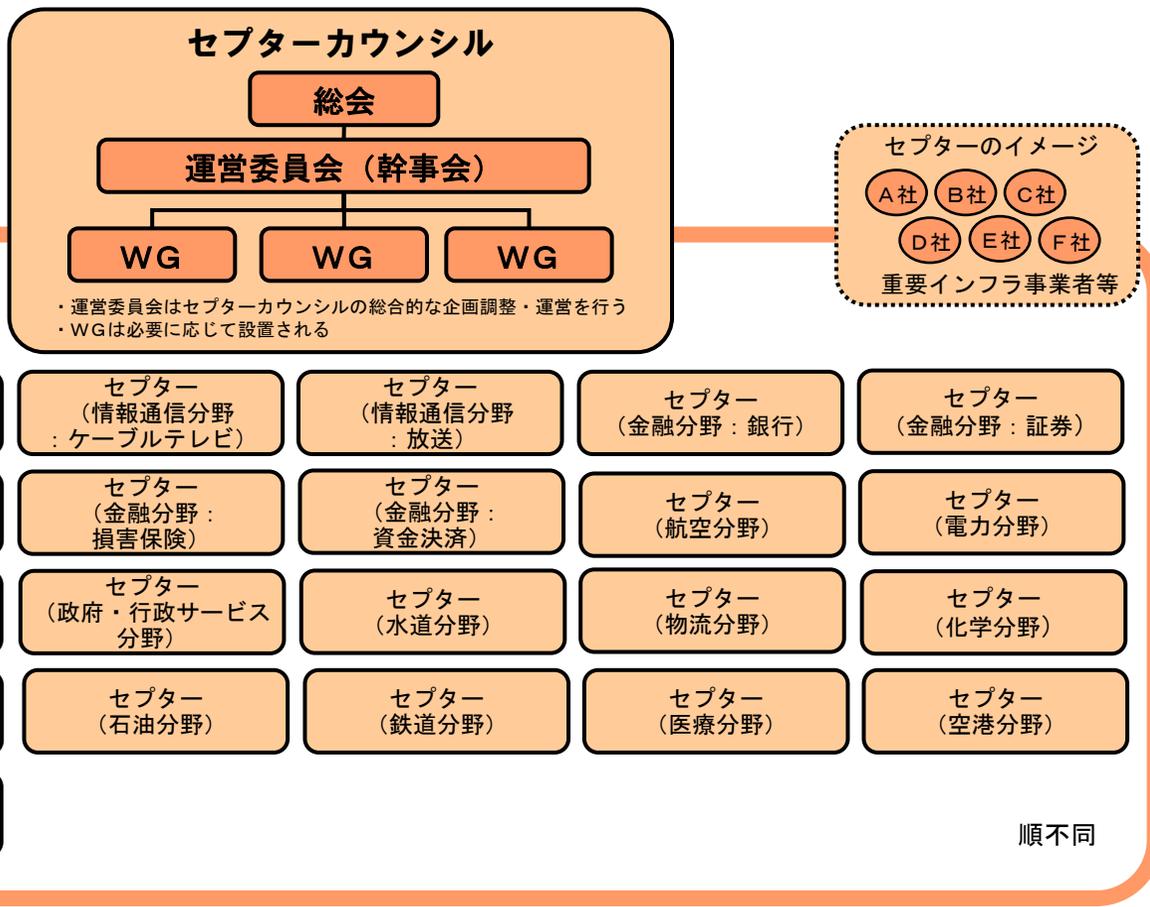
電話：03-6277-7487

メール：CEPTOAR-Council@cyber.go.jp

※セプターカウンシルへのお問い合わせは内閣サイバーセキュリティセンターまでお願いします。

各セプターでは対応をいたしかねますので、御注意ください。

セプターカウンシルの概要



- ・ 2009年2月26日に創設。
- ・ 2012年4月12日に開催された総会（第4回）より、ケーブルテレビCEPTOAR、ゆうちょ銀行、情報通信研究機構、情報処理推進機構、JPCERTコーディネーションセンターがオブザーバとして加盟。
- ・ 2013年4月9日に開催された総会（第5回）より、ケーブルテレビCEPTOARが正式に参加。
- ・ 2014年4月8日に開催された総会（第6回）より、化学CEPTOAR、クレジットCEPTOAR及び石油CEPTOARが正式に参加。
- ・ 2017年4月25日に開催された総会（第9回）より、鉄道CEPTOARが正式に参加。
- ・ 2018年4月24日に開催された総会（第10回）より、医療CEPTOARが正式に参加。
- ・ 2019年4月23日に開催された総会（第11回）より、空港CEPTOARが正式に参加。
- ・ 2023年4月21日に開催された総会（第15回）より、資金決済CEPTOARが正式に参加。
- ・ 2025年4月16日に開催された総会（第17回）より、港湾CEPTOARが正式に参加。

セプターカウンシルを構成するセプターの代表者一覧

(2025年4月16日現在)

セプター名		所属等	氏名
情報通信	T-CEPTOAR	一般社団法人ICT-ISAC 理事長	齊藤 忠夫
	ケーブルテレビCEPTOAR	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事	小林 直樹
	放送CEPTOAR	一般社団法人日本民間放送連盟 常務理事・事務局長	本橋 春紀
金融	銀行等CEPTOAR	株式会社三井住友銀行 取締役専務執行役員	高松 英生
	証券CEPTOAR	日本証券業協会 常務執行役 管理本部共同本部長	山本 悟
	生命保険CEPTOAR	住友生命保険相互会社 執行役常務	汐満 達
	損害保険CEPTOAR	一般社団法人日本損害保険協会 常務理事	伊豆原 孝
	資金決済CEPTOAR	一般社団法人日本資金決済業協会 専務理事	長楽 高志
航空CEPTOAR		定期航空協会 事務局長	吉田 秀彦
電力CEPTOAR		電力 I S A C 事務局長	高橋 俊晴
GAS CEPTOAR		一般社団法人日本ガス協会 技術部 部長	猪股 涉
自治体CEPTOAR		地方公共団体情報システム機構 システム統括室 次長（リスク管理担当）	鈴木 一弘
水道CEPTOAR		公益社団法人日本水道協会 理事長	青木 秀幸
物流CEPTOAR		一般社団法人日本物流団体連合会 事務局長	山田 哲也
化学CEPTOAR		石油化学工業協会 総務部長	木口 慎一
クレジットCEPTOAR		一般社団法人日本クレジット協会 事務局長	河野 敬一
石油CEPTOAR		石油連盟 企画総務部部長	佐藤 政広
鉄道CEPTOAR		一般社団法人日本鉄道電気技術協会 専務理事	入夏 仁美
医療CEPTOAR		公益社団法人日本医師会 常任理事	長島 公之
空港CEPTOAR		日本空港ビルデング株式会社 デジタル事業推進室長	高橋 征幸
港湾CEPTOAR		一般社団法人日本港運協会 業務部長	高橋 郁夫

セプターの概要

セプター名		事務局	構成員数 (2024年9月末現在)
情報通信	T-CEPTOAR	一般社団法人ICT-ISAC	28社、1団体
	ケーブルテレビCEPTOAR	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟	303社、1団体
	放送CEPTOAR	一般社団法人日本民間放送連盟、日本放送協会	194社、2団体
金融	銀行等CEPTOAR	一般社団法人全国銀行協会	1,228社
	証券CEPTOAR	日本証券業協会	276社、7機関
	生命保険CEPTOAR	一般社団法人生命保険協会	41社
	損害保険CEPTOAR	一般社団法人日本損害保険協会	49社
	資金決済CEPTOAR	一般社団法人日本資金決済業協会	190社
航空CEPTOAR		定期航空協会	14社、1団体
電力CEPTOAR		電力ISAC	24社
GAS CEPTOAR		一般社団法人日本ガス協会	12社、1団体
自治体CEPTOAR		地方公共団体情報システム機構	47都道府県、1,741市区町村
水道CEPTOAR		公益社団法人日本水道協会	8水道事業体
物流CEPTOAR		一般社団法人日本物流団体連合会	6団体、17社
化学CEPTOAR		石油化学工業協会	12社
クレジットCEPTOAR		一般社団法人日本クレジット協会	49社
石油CEPTOAR		石油連盟	10社
鉄道CEPTOAR		一般社団法人日本鉄道電気技術協会	22社、1団体
医療CEPTOAR		公益社団法人日本医師会	1グループ、21機関
空港CEPTOAR		空港・空港ビル協議会	8社

※ 上記に加え「港湾CEPTOAR」(事務局：一般社団法人日本港運協会、構成員数：30社、9団体、7地方公共団体)が2025年4月16日から参加